

平成29年度第1回南部町教育協働みらい会議 議事録

開催日時 平成29年6月2日(木)
午後3時28分～午後5時30分

開催場所 緑水園 会議室

出席者 陶山町長、井上教育委員、森岡教育委員
板教育委員、瀬田教育委員 永江教育長

事務局 松田副町長、唯総務課長、板持教育次長、見世総務・学校教育課長

書記 総務・学校教育課 水嶋

欠席委員 なし

	【開会 午後3時28分】
	【1. 開会】
	【2. 挨拶】
陶山町長	今日の議題は、複合施設について。長い時間をかけながら議論をしていきだが、この会議を通じて、もう一度見直しができればいいと思っている。
	【3. 意見交換】
	1) 複合施設に求められる教育機能について
松田副町長	平成27年度までは教育委員会で検討してきた。平成28年度より人が集まり交流する場も含めた複合施設という意味合いもこめ、総務課で検討委員会を立ち上げ検討を開始した。平成29年度より企画監を設置し、企画政策課に移管した。合併特例債を活用して平成31年度までに整備する予定。検討委員会には、教育委員会にも同席してもらいやり取りをしていく。今後の議論のポイントは、「民間活力をどう取り入れるか」「ホールを設置するか」である。
永江教育長	平成31年度末にその事業が終了していないといけないのか、着工していればいいのか。
唯総務課長	平成31年度前半までに合併特例債の手続きがしてあればよい。
松田副町長	平成31年度予算であげていればよい。民間を入れて公共的経費をおさえたい。人を集めるという視点で民間の発想を得たい。
永江教育長	複合施設に求められるコンセプトをはっきりさせなければならない。中心的機能は何かということ。
森岡委員	人が集まる場所ということで社会教育の面を強化すべき。子どもたちが大人と交わり、一緒に活動できる場とすることは外せない。そして、複合施設内に人権・社会教育課を移動し、社会教育主事を配置し、活動の充実を図る。そして、今の人権・社会教育課の場所に子育て支援課をおき、保小中の繋がりを強化したらどうか。
	ホールについては、天萬庁舎にある。法勝寺にも作ると、合併の良さが失われる。
唯総務課長	プラザも老朽化している。したがって、プラザの代替機能が必要。

井上委員	プラザ西伯は老朽化しているので、残っているとして考えるべきではない。
	ただ、ホールについては年に数回使うということであれば不要。
	まんてんホールのステージが狭いことが残念。
	災害時のことを考えると、地盤が高い位置に建ててフロアが必要だと考える。
瀬田委員	図書館を入れることを前提に考えると、子どもが交流できる施設がよい。
	イメージとしては、倉吉未来中心の後ろにある交流プラザが良い施設だと思っている。
板委員	そもそも新しい施設が必要なのか。近くの既存の施設を活用することも考えてはどうか。
	ランニングコストをどう埋めていくかは、まさに民間の活用だと思う。
	人に集まってもらいたいと言われるが、その人とは町内か町外かをはっきりしないと中途半端になる。
	駐車場の確保も含めて考えてほしい。
	ホールも大きな立派なものではなく、箱をつくりパーティーションで仕切れるものがないのでは。
唯総務課長	既存の施設の活用についても議論してきた。
永江教育長	公民館をつくるのではなく、複合施設を作るということはこれまでの検討の結果である。
	どうせつくるなら、よりよいものをつくろうということであると捉えている。
	老若男女が集い、行き交う、交流する場にすることが大切である。
	そのうえで、若い人が行ってみたいと思うような仕掛けが必要ではないか。
	キーワードとして「若い人」は必要。
	また、そこに学びがあるべきである。生涯学習社会の実現につながるものである。
	以上、2つのキーワードを考えてみると、中核的機能として図書館がよいのではなか。
	図書館を中心としていろいろなものをくっつけていくという考え方はどうだろうか。
	「集う」ということで、あまり制約はしない。
森岡委員	児童文化センターというようなイメージはどうか。図書館があることで子どもも大人も学べる。
	調理室もあるとよい。お茶が飲めるスペースもつくり、そこに民間が入る。
	また、そこに英語教室等も開き、子どもも大人も学べる場になればいいと思う。
松田副町長	図書館は静かに過ごすというイメージがあるが、最近カフェ等があり、
	人が集まってくる核となっている。
森岡委員	南部町にはパン屋がないので、例えばパン屋を入れいるとより人が
	集う場となるのではないか。
瀬田委員	図書館とホールを同じ施設にして狭く中途半端になるより、どちらかに絞って
	充実させた方がよい。
陶山町長	調理、防災の視点が耳に入ってくる。普段使わないものより、パン屋やご飯屋のような
	常時使用するのものの方がよいのではないか。
永江教育長	防災100平米とは何か。
松田副町長	防災の対策本部がおける場ということである。この施設になければならない
	ということではなく、1つの候補である。
陶山町長	ホールを作るというのは少数意見である。プラザを取り壊すわけにはならないので、
	200人収容する機能は残ると考える。

	図書館中心ということが正論。そして、図書館に公民館機能を加えていくことが
	よいのではないか。土地は確保できるだろうが、どこまで確保するかということが
	ポイントである。また、法勝寺庁舎の自家発電の問題から防災の
	センター的機能という話もでた。
松田副町長	何でもかんでも入れるというわけではなく、核として何をおくかである。
	やはり、それが図書館が良いのではないか。
永江教育長	人権・社会教育課をその施設に移すのも、運営の充実という面で1つの案ではないか。
森岡委員	学校・家庭・地域の連携と南部町教育課題の解決のための1つとして力を発揮してほしい。
板委員	法勝寺電車や板祐生について学ぶ仕掛け作りもしてほしい。
森岡委員	複合施設を拠点に、大人の力、企業の力を借り、社会教育課が中心となって運営し、
	子どもたちに豊かな体験をさせてほしい。
	2) 保・小・中・高18年間をつなぐ学びの創造について
森岡委員	園と小学校の気持ちが1つにならないと何も進まない。実際、連携はできていない。
	園は学校や教育委員会に遠慮している。教育委員会の管轄に入ることはできないか。
松田副町長	学校と保育士の意識を変えろということも必要。
井上委員	資料の「イ. 園は大丈夫と予想していたが、実際には子ども達に戸惑いがあったこと」と
	「ロ. 園は子ども達が戸惑うだろうと予想し、そのとおりだったこと」のすり合わせをしてほしい。
陶山町長	どこまでが家庭がすることで、どこまでが園や学校がすることなのか、
	原点に立ち返り、考える時にきている。
森岡委員	「文字や文を読んだり書いたりすることは教えないでください。」と園に言った教頭先生がいて
	疑問に感じた。
	例えば体力づくり等、町全体で取り組むものが何か1つあってもよいのではないか。
	それは、子どもたちの学力向上にもつながるのではないか。
	園で毎日マラソンをしている子は、学校に入ってから体力がある。
板委員	中学生までは部活もあって運動する機会があるが、高校に入ると二極化する。
	スポnetでも課題と考えている。
	若者が南部町に帰ってくるためには、働き世代が健康でいきいきと働く姿を
	見せることも大切ではないか。
陶山町長	働きに帰ってくる南部町にしたい。その努力が足りない。
見世課長	中学生が行う南部町版職場体験「しごと未来体験」では、8名が米子市に職場体験に行く。
陶山町長	企業誘致をすると、他の企業から人を取るのでは反対の声がある。
見世課長	南部町に暮らすことが良いという価値観を、保育園の頃から親子で共有したい。
永江教育長	高等学校との連携も必要。中学校で数日職場体験をただけではその価値観は育たない。
松田副町長	町内の高校ではないので、行政としてどう連携するとよいのか難しい。
陶山町長	高校生サークルには何名所属しているか。
板持次長	男子8名、女子28名の合計36名。そのうち、1年生は9名で、昨年の「まち未来会議」の
	成果であるとする。
見世課長	「まち未来科」の理念に基づく保育を展開できるとよい。
	年長は半年間、小学校の空き教室で過ごす等。

井上委員	人材の取り合いの時代である。
森岡委員	1つのエリアで老人と園児と一緒に生活するというあり方も一案ではないか。
	町外から視察に来てもらえるような園づくりをしてほしい。
井上委員	つくし保育園とさくら保育園は近いので1つにしてはどうか。
	旧会見と旧西伯を分けるより、子どもの頃から一緒に過ごす。
	そうすると、バイパスの辺りに人家が増えるかもしれない。
永江教育長	現在も、希望があれば校区外就学を認めている。自由選択制もよいのだが、
	子どもたちの教育にとって良いのかどうか、判断・見極めが重要である。
	【4. 挨拶】
永江教育長	園・小アンケートについては相互に意識・文化を変える必要があると思う。
	その進め方について考えていきたい。
	ここ10年、学校に地域との協働が必要であると言われつづけてきた。
	教育再生実行会議第10次提言では、キッズウィーク、働き方改革等、次の波が
	学校にやってきたと考えている。
	両方の中学校を統合するということは考えていない。
	部活動の問題は解決、対応できる。
	法中校区は、小中連携の中で一貫を視野に入れていく。
	南中校区は、義務教育学校あるいは小中一貫校の形にならないか考えていきたい。
	二小は、特色を持たせる。
	選択肢の1つとして以上のことをもって議論を重ねたい。
	立ち止まらずに進んでいく。
	【5. 閉会】
	午後5時30分